

阿賀野川流域地域

令和7年度パネル巡回展



# 水と大地のSDGsをさぐる 大地編

## 水と大地が織りなしてきた持続可能な豊かさとは？



※SDGs:「Sustainable Development Goals」(= 持続可能な開発目標)の略称。

令和7(2025)年度のパネル展では、大河と大地が織りなしてきた、阿賀野川流域地域における持続可能な豊かさを、光と影の歴史とともに紹介する【大地編】です。



展示期間	展示施設	展示時間・備考
3/7(土)～3/24(火)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00～19:00 金曜休館 日曜 10:00～17:00
3/7(土)～3/31(火)	道の駅「阿賀の里」	9:00～16:00
3/26(木)～3/29(日) 臨時休館のため、展示期間が変更になりました。	ラポルテ五泉 ガレリア	9:00～22:00 初日13:00から

■ 主催: 新潟県 ■ 共催: 新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町 ■ 企画 & お問合せ: 一般社団法人 あがのがわ環境学舎

### 「阿賀野川え～とこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

#### 阿賀野川え～とこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

### 編集後記

第42号はいかがでしたでしょうか？  
令和7年度は、新潟水俣病公式確認60年を迎えた節目の年でしたが、当時は子どもや若者だった方々も現在70～80代になり、あの時代に何が起きたかを知る機会は確実に少なくなりつつあります。今回のフォーラムでは、当時の様子を関係者からヒアリングする動画イベントを開催しますので、ぜひお気軽にご覧ください!



今号表紙の写真「川魚の焼き干し」

阿賀野川流域では、昭和の高度経済成長期まで、川魚を日常的に食べる人々が多かったです。そうした家では、囲炉裏で焼いた川魚の串焼きを、天井から吊るされた藁や竹などでできた「まっとう」と呼ばれる筒に刺して保存食としていました。

阿賀野川え～とこだより 第42号

発行: 新潟県(※環境省補助事業) 発行日: 2026年3月10日  
企画編集: 一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424  
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え～とこだ! 流域通信  
<https://aganogawa.info/>

// え～とこだよりのバックナンバーも見れます! //

